慶應義塾大学
松下記念図書館

No.202
May 2017

理工学メディアセンターニュース

Media Center for Science and Technology
Newsletter

イベント

第11回サイエンスカフェ
ハリウッドから見たメディアインフラの未来

今年もサイエンスカフェの季節がやって来ました！
2017年度の第一弾は、情報工学科の金子晋丈先生を講師にお招きします。メディアインフラのホットな話題について先生とディスカッションしましょう！！

【講師】金子晋丈先生(情報工学科)
【日時】2017年5月15日(月)
18:15-19:30
【会場】理工学メディアセンター創想館1階
【対象】塾生・教職員
【参加費】無料(お茶とお菓子が出ます！)
※事前申し込みは不要です。

デジタル技術がメディアコンテンツの制作・流通・消費を担う時代になりました。
4Kテレビや映画館、ネット配信など、最先端のデジタルメディアインフラ技術の未来について、私がこれまでハリウッドと共に行ってきた活動や研究に基づいてお話しします。
デジタルメディアの未来についての素朴な疑問をぶつけてみませんか？

理工学部の1、2年生、他学部所属の方も大歓迎です！皆さんのご参加をお待ちしています。

昨年のサイエンスカフェの様子

予告

第12回サイエンスカフェ

６月もサイエンスカフェを開催します！
建築デザインや公共空間などのテーマについて、システムデザイン工学科のホルヘ・アルマザン先生にご講演いただきます。
詳細は次号のメディアセンターニュース等でご案内いたしますので、どうぞお楽しみに！

【日時】2017年6月27日(火)
18:15-19:30
【会場】理工学メディアセンター創想館1階
【対象】塾生・教職員
【参加費】無料
※事前申し込みは不要です。

セミナー

IEEE論文執筆セミナー開催

IEEE(アイトリプルイー)のトレーナー来日に合わせて、論文を書く上で押さえるべきポイントなどについて講演を行っていただきます。
IEEEへの論文投稿に関心のある方は、どうぞお見逃しなく！

【講師】IEEE Client Services Director,
Rachel Berrington氏 (一部通訳あり)
【日時】2017年6月1日(木)15:00-17:00
【会場】14棟2階セミナールーム4
【対象】慶應義塾所属者
【申込み】理工学メディアセンターWebサイト＞申し込む
※5月8日(月)から受付を開始します。
【共催】IEEE、丸善雄松堂株式会社

私の1冊

情報工学科
山﨑信行 先生
『ご冗談でしょう、ファインマンさん 上・下/ R.P. ファインマン著 』

配架場所：本館２階新書・文庫コーナー

ノーベル物理学賞受賞者であるファインマンは幼い頃から知的好奇心が旺盛で、数多くのユーモラスな逸話を残しています。彼のとどまることのない探求心とそれが故に引き起こされた出来事の数々を楽しみながら読んだ記憶があり、学生の皆さんにも楽しんで読んでもらえると思います。
本書には、これまた有名な物理の教科書である『ファインマン物理学』のような物理学自体の難しい話題はほとんど出てきません。彼の残したエピソードを通じて、未知への純粋な興味や、それを追い求めることの喜び、科学者としての本質的な楽しさを伝えてくれるものとなっています。
これから理工学部で研究者や技術者を目指す皆さんに是非とも一度は手にとってもらいたい一冊です。

Contents

第11回サイエンスカフェ	P.1
IEEE論文執筆セミナー開催	P.1
防災のすゝめ	P.2
館内のITトラブルは・・・	P.2
製本雑誌 別館へ移動完了	P.2

メディアセンタークイズ

昨年開催したサイエンスカフェで取り上げられていないテーマはどれでしょうか？

①再生医療
②真田幸村
③人工知能

答えは紙面のどこかに…

今月の1枚：ヘッドフォン

もうすっかり暖かくなりましたね！皆さん、新しい環境には慣れましたか？

春になると靴や洋服、カバン、文房具などを新調したくなる方が多いのではないでしょうか。

理工学メディアセンターでは、4月に館内PCエリアの「ヘッドフォン」を新調しました。お役御免となったヘッドフォンは、イヤークッションがボロボロになるまで使っていただいたものがほとんどでしたが、捨てるには惜しいものもありました。そこで、«TAKE FREE»で館内に出してみたところ、たくさん持って行っていただけました。リサイクルへのご協力ありがとうございました。

これからも皆さんに気持ちよく利用していただけるよう細やかなサービスを心がけます。

館内

防災のすゝめ

いつ起こるかわからない地震などの災害。頑丈そうな図書館ですが、大きな地震が起これば危険も潜んでいます。備えあれば憂いなし。今回はメディアセンターの地震対策についてご紹介します。

すべての書架は将棋倒しにならないように壁止め、床止め、頭つなぎをしています。また、館内で一番背が高い本館２階の学位論文の書架は、製本された学位論文が頭上に落ちてくると大変危険ですので、上から2段目までに感震式の書籍落下防止装置をつけています。震度４レベルの揺れを感知すると安全バーが自動で作動し、資料の落下を防ぎます。このような対策を行っていますが、地震の揺れを感じたら、すぐに書架から離れて身の安全を確保してください。

揺れが収まったら、速やかにスタッフが館内を見回り、皆さんを避難誘導します。本館(15棟)は建物が古いので、免震構造の創想館に一旦避難していただきますが、万が一、火災発生の場合は、非常口から外へ誘導することもあります。スタッフは有事にもすぐ行動できるように、消火器や消火栓、非常口の場所を覚え、訓練も行っています。もしもの場合は落ち着いて、スタッフの指示に従ってください。ご協力をよろしくお願いします。

サービス

館内のITトラブルは・・・

皆さんは館内で以下のようなトラブルに見舞われたことはありませんか?

・Wi-Fi(keiomobile2)に接続できない。
・PCの動きがおかしい。
・スキャナの読取りがうまくいかない。

トラブル解決のためのITCヘルプデスクを本館1階レファレンスデスクの隣に移設しました。ITCヘルプデスクとは、理工学部のIT担当部署(ITC)から派遣されているTAの相談窓口です。ITに詳しいスタッフが解決のサポートをしてくれます。困った時にはお気軽にご相談ください。

お知らせ

製本雑誌 別館へ移動完了

昨年の夏から利用者の皆様にご不便をおかけしていました雑誌の移動作業が、3月末に終了し、館内での配置は以下のように2箇所にまとまりました。

発行年	配置場所
2007年-	本館１階
1981年-2006年	別館

ただし、電子ジャーナルが利用できるタイトルについては、上記の年代でも山中資料センター(山梨県)で保存しているものもありますので、KOSMOSで配置場所をご確認ください。

発行

慶應義塾大学理工学メディアセンター

〒223-8522 横浜市港北区日吉3-14-1
TEL: 045-566-1477
E-mail: riko-info@lib.keio.ac.jp

Webサイト Twitter

電子版はWebサイト「図書館について」メニューにある「出版物・統計」よりご利用ください。

理工学メディアセンターリポジトリ ΣStar(シグマスター)

ΣStarでは理工学部の研究・教育成果のうち、電子化され、著作者の許諾が得られたものを公開しています。学位論文・プレプリント・リサーチレポート・その他教材など、登録のご相談は理工学メディアセンターまでお寄せください。

理工学メディアセンターWebサイトにあるバナーよりご覧ください。

リコメ☆ニュース購読受付中！

リコメ☆ニュースでは、新サービス、データベースや電子ジャーナル、各種セミナーやイベントなどのお知らせをメールでお届けします。対象は慶應義塾在籍者の方で、配信は不定期です。

こちらのQRコードか、理工学メディアセンターWebサイトの「申し込む」メニューよりお申し込みください。

メディアセンタークイズ

答え：①
昨年は、青木義満先生に「画像認識にみる人工知能の現在と未来」というテーマで、番外編として真田幸俊先生に「兄信之から見た真田幸村」というテーマでご講演いただきました。今年のサイエンスカフェもどうぞお楽しみに!!